

栗原小学校の地震・風水害対応 《在学中保存》R3.4改訂

I [地震対応]

1 登校前に市域で震度5弱以上の地震（大規模地震）が起こったとき

- (1) 登校前に市域で震度5弱以上の地震が起こった場合には、学校は「臨時休校」になります。児童の登校を控えさせてください。

2 児童の在校時に市域で震度5弱以上の地震（大規模地震）が起こったとき

- (1) 原則、直ちに授業を打ち切ります。児童の初期安全を確保した後、安全な場所に避難誘導し、保護者等引き取り人が学校に引き取りに来るまで学校で預かり（留め置き）ます。

- (2) “市域に震度5弱以上の地震”の情報を受けて、保護者等引き取り人は自主的に引き取りに向かってもらいますが、学校からは念のため引き取りの依頼や保護状況等を連絡メール、災害用伝言ダイヤル、学校ホームページ（以下で「連絡メール等」という）及び音声電話など、可能な範囲の手段で情報発信します。

- (3) 学校留め置きが長時間に及ぶ場合、飲料水は非常用飲料水貯水槽からの汲み上げ水を、食料は防災用備蓄食料（アルファーミ、おかゆ等）を、また、毛布等が必要な場合は防災備蓄倉庫に保管のものを利用します。

3 児童の登下校時に市域で震度5弱以上の地震（大規模地震）が起こったとき

- (1) 登校時に発生した場合には、原則として児童はそのまま登校することとし、その後は在校時の発生と同様に引き取りが行われるまで留め置きます。
- (2) 下校途中の発生においては、原則として児童はそのまま下校して、あらかじめ家庭で決めた避難場所に直ちに避難することとします。地震発生時に校内に残っている児童は引き取りが行われるまで留め置きます。

5 南海トラフ地震臨時情報が発表された ○南海トラフ地震臨時情報（調査中）（巨大地震警報）

特別な対応はありませんが、不十分な場合には、情報の内容・趣旨について説明する

○南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警報）

- (1) 登下校・課業中に発表されたとき

不十分な情報により児童に不安が生じる

いて、担任、授業担当などが説明するな

教職員は、情報収集・連絡体制の確認、

模地震発生後の災害応急対策の確認等を

- (2) 校外学習中に発表されたとき

集合解散場所から行事の実施場所までの

を事前に確認し、地震が発生した場合に

6 大規模地震にあたらぬ地震発生時の運行状況を確認する

- (1) 大規模地震にあたらぬ地震でも、被害

その際には、保護者に学校メール等で知

- (2) 次のような場合は、大規模地震発生時

ます。この場合にも学校メール等で保証

- ①自校周辺の鉄道等の運行状況を確認
②学校及び周辺の地域が停電となつてい

るかと判断される場合

Ⅱ [風水害対応]

1 前日に荒天（台風接近等）が予測される場合

- (1) 台風等で前日から次の日の荒天が予測される場合には、教育委員会教育指導課との協議により前日の段階で翌日の措置を判断するよう努めます。
- (2) 措置は可能であれば文書で発信し、併せて連絡メール等で情報提供します。また、文書が間に合わない場合には連絡メール等で保護者に伝えます。

2 前日に予想できず、登校前に座間市に「警報」が出されたとき

- (1) 座間市に朝6時以降に警報が出されている場合には、特段の連絡がなくとも児童は「自宅待機」します。
- (2) その後の措置（「時間を遅らせての始業」や「臨時休業」）については、教育委員会教育指導課との協議により下した判断を連絡メール等で保護者に伝えます。

3 児童の在校時に座間市に「警報」が出されたとき

- (1) 児童の在校時に「警報」等が出され、下校対策を考慮する必要がある場合には、教育委員会教育指導課との協議に基づいて次のように判断・措置します。
 - ①下校完了まで風雨が強くならないと予測される場合には「一斉下校」とします。
 - ②下校時に風雨が強まる予測されると下校には「地区別集団下校」とします。
 - ③通学路の状況等により児童だけの下校が不可能な場合には、風雨が弱まるまで学校で待機させます。待機が17時を過ぎる場合には保護者への引き渡しとします。
- (2) 措置内容については連絡メール等で保護者に伝えます。

4 「警報」が出されているときの校外学習の扱い

- (1) 遠足や体験学習などは原則として延期・中止としますが、目的地に警報が出ておらず、出発を遅らせる措置等をとれば安全な場合は、実施する場合もあります。
- (2) 修学旅行は原則実施し、現地の状況に合わせて行程を調整します。ただし、交通機関や宿泊施設の使用不能など特別な場合は中止もあります。

3 児童が下校時の場合

下校時刻を変更する場合は、学校メール
通学路の状況等により、必要と判断します。
行います。

IV 「地震や風水害時の出欠席の扱い

- (1) 学校が臨時休業となつたときは授業日です。
- (2) 学校が登校時刻の繰り下げや下校時刻の在校した児童は通常の「出席」です。
- (3) 周辺地域の状況を見て家庭の判断で休まず席を要しない日となります。また、登校となります。

V 「家庭での情報の受発信】

1 気象情報発表状況の確認方法

- 地上デジタル放送受信中にデータボタンでできます。
- NTTの「177」では、電話をかけ放送されます。
- 気象庁のホームページ (<http://www.jma.go.jp>) →気象警報・注意報→地図上の神奈川県でできます。
- 「災害用伝言ダイヤル」を使った学校が聞く方法
「171」→「2」→「046」→「171」→「2」→「046」

III 市内に「雷注意報」が発表された場合の対応